

## まなびや訪問

金融教育研究校・  
金銭教育研究校  
の紹介



廃材を使っでの遊び



鳴門海峡の渦潮



野菜の栽培体験



黒崎幼稚園の園舎とすだちくん



## 鳴門市黒崎幼稚園

黒崎幼稚園は、鳴門市に所在しています。鳴門市は、世界三大潮流に数えられ、渦潮で有名な鳴門海峡に面しており、古くから製塩・足袋製造などで栄えてきました。当園は、年少児14名、年長児10名の小規模園であることから、一人ひとりの幼児の育ちをとらえた丁寧な教育を心がけています。

そうした中、徳島県金融広報委員会から2019年度より2年間の金銭教育研究校の委嘱を受け、幼児教育における金銭教育の充実をめざして日々取り組んでいます。

幼児期における金銭教育で重要なことは、毎日の生活でのさまざまな体験を通して、お金や物を大切にすること、意欲・態度を身に付けることと考えています。具体的には、まず、触れたり関わったりするさまざまな「物」には限りがあることを理解し、より一層「物」を大切にすることを身に付けることです。二つ目に、その「物」が自分たちに届くまでの間で大勢の人が

働いていること、またそれに対してお金という代価を支払う必要があることを知り、感謝の気持ちやお金の大切さを感じることをします。

2019年度は、幼児たちで栽培・収穫した夏野菜を幼稚園の夏祭りや保護者や地域の方々に販売しました。栽培から販売までの体験を通じて、たくさんのおのおかげで野菜を美味しく食べられるということに気づき、より大切に食べようとする姿が見られるようになりました。さらに、野菜販売で得られたお金でバス乗車体験や買い物体験も行い、生活とのつながりからお金の流れや大切さを学びました。実際、保護者へのアンケート結果からも、お金や物に対する幼児の心情や態度が変化したことを確認することができました。

2020年度は、残念なことに新型コロナウイルスが全国的な問題となりましたが、感染対策を講じながら、地域全体で金銭教育に取り組んでいけるよう工夫したいと考えています。